

まどかっ子の学力(全国学力・学習状況調査より)

4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。この調査は、毎年全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われるものです。調査は、教科(国語、算数、理科)と質問調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等)です。

(数字は平均正答率)

	国語	算数	理科
円山小学校	74%	67%	65%
福井県平均	69%	60%	61%
全国平均	66.8%	58%	57%

福井県は、国語、算数、理科ともに全国でも上位の成績となっています。本校6年生は、その県平均を上回る大変素晴らしい結果が出ています。

円山小学校では、これらの内容を分析し、どのような力を求められているのかを考えました。

ここでは、全国平均や県平均よりも正答率が低かったものと、全国平均や県平均よりも正答率は高かったが課題があるものを掲載します。【今回は算数科についてお知らせします。】

【算数】

本校の特徴(○良好●課題)

○図形の中から台形を選ぶ。(円山小 76.9%、県 55.6%、全国 50.2%)

○五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く。(円山小 56.4%、県 41.8%、全国 37%)

●領域「数と計算」必要な情報を読み取る。

示された表から、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ
(円山小 75.6%、県 75.5%、全国 71.6%)

正答 い・う

種別	春だいこん (4月～6月に出荷)	夏だいこん (7月～9月に出荷)	秋冬だいこん (10月～3月に出荷)	合計
都道府県				
㊸	51300	348	82900	134548
㊹	9240	91400	20800	121440
㊺	18900	50300	28700	97900
㊻	12600	477	70100	83177
その他	84460	44875	420200	549535
合計	176500	187400	622700	986600

※ ㊸、㊹、㊺、㊻は都道府県名です。

(作物統計調査による。)

<今後取り入れていくこと>

・複数の情報の中から、必要な情報を選び取る力を身につける。(問題中の情報を絵や図に整理したり、必要な情報だけに下線を引いたりして、情報を整理する経験をさせる)

・言葉の意味や状況を理解できるように、具体物やデジタルコンテンツを活用した数学的活動を充実させる。

●数量関係を理解したり、説明したりする。

(円山小 28.2%、県 22.9%、全国 23.0%)



機械的な計算はよくできているが、数量関係を理解したり、説明したりすることができていない。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



ひろと

$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。

もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

<今後取り入れていくとよいこと>

・自分の考えを伝える活動を多く取り入れる。

(正しい説明に必要な条件を明らかにしていく活動を取り入れる)

①元にする数を同じにするのだから通分します。分母の最小公倍数を新しい分母に決めて、分母にかけた数と同じ数を分子にもかけるから、 $9/12$ と $8/12$ になります。



②この説明で大丈夫かな？



③付け足しをします。元にする数を聞かれているので、その数は「 $1/12$ 」です。そして、 $3/4$ は $1/12$ の9個分、 $2/3$ は $1/12$ の8個分になります。



④そうだね。この問題では、
・同じにする「もとにする数」
・それぞれの分数は「もとにする数」の何個分かを答えないといけないね。

・適応問題を解いて資質・能力を高める。

(学んだことがどのような場面で活用できるのか、自分のものとして使えるようになっているのかを実感させる場面を設定する)